

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会総会議事要旨

日時：平成24年6月4日（月）

13:30～14:15

場所：パレス神戸 大会議室

1 開会あいさつ(議長 金澤兵庫県副知事)

本日は、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会総会の開催に当たり、大変多くの皆様にご出席いただき、心からお礼を申し上げます。

当協議会会長である井戸知事は、「税と社会保障の一体改革公聴会」が神戸で開催されることになり、地元の知事として出席せざるを得なくなりました。急遽私が代役ということになったが、お許しを願いたい。

まず、昨今の犯罪情勢については、平成23年中の刑法犯認知件数76,532件で、平成14年が戦後最高を記録した年であるが、9年連続して犯罪件数は減少している現状にある。

県が、平成21年5月に「地域安全まちづくり推進計画第2期」という計画をまとめ、この中で翌平成22年から平成24年までに、3年間をかけて刑法犯認知件数を1万件減少させるという成果目標を立てていたが、先ほど申し上げた件数は、既に1年早く平成23年に達成した状態である。

また、地域の安全安心まちづくりの体制を申し上げますと、まちづくり防犯グループは2,400近くのグループが結成され、地域におけるカバー率は約85%である。

地域安全まちづくり推進員には、約1,900名の方をお願いしており、それぞれの地域で地道な活動を展開していただいている。

また、事業所防犯責任者は、8,900を越える事業所で設置していただいている。

このように多くの皆様のご協力のお陰で兵庫の中に、安全安心まちづくりに対する体制、気運が着々と醸成されている証ではないかと思っている。

また、今日お集まりの皆様には、防犯面のみならず、交通安全や子どもの見守り、さらには地域防災など、さまざまな活動をあわせて展開していただいたり、各種団体との連携のもとで取り組んでいただき、こうした広範な活動していただいていることが、地域の安全安心、県民が安心して暮らすことのできる地域社会に、それぞれの住んでいる人たちが互いに支え合う、底力のある地域社会づくりにつながっているのではないかと思います。

改めて、厚く御礼を申し上げますとともに、これからも着々と積み上げていっていただくよう、お願い申し上げます。

また、もう一点、これは今日のテーマである地域安全まちづくりとは離れるが、色々な団体の皆様が集まっているので、節電の取組みについてコメントさせていただきたい。

報道等でご承知のとおり、関西電力管内では、15%節電目標を決定したところである。

その後、大飯原子力発電所の再稼働に向けて、再稼働の可能性が見えてきているのは報道のとおりである。

しかし、実のところ、現時点で申し上げると、再稼働に向けては、地元との調整等で、政府として国民に対してちゃんと責任ある説明が出来るような、体制を整えた上での再稼働の決断などもあり、再稼働に踏み切るという方向は決まっても、現実に再稼働に向けては、機械の点検や踏んでいかなければいけない法的手順もあり、必ずしも夏場の暑いときを迎えるまでに再稼働がなされるかどうか、また再稼働を前提とした場合に、他の電力管内からの融通がどの程度期待出来るか、改めて再検討される可能性がある。

そういった意味では、再稼働が仮にされたとしても、时期的なタイミングの問題、そして関西の節電目標を改めて検討した結果、何%くらいになるかというようなことも、現時点では確たることは申し上げられない状況にあり、県民のみなさまには、不測の事態に備えて、準備態勢を整えていっていただきたい。

それと併せて、国の方で再稼働の状況を踏まえた上での新しい節電目標の数値が示されれば、具体的にどのようなレベルで県民の皆様、事業所の皆様に節電をお願いするか、関西としての目標を議論しながら、出来るだけ早くお伝えを申し上げたいと、今のところはそういうスタンスである。

なかなかすっきりとしない状況であるが、私共関西の者としては、今後の準備を持ち続けておくべきであるというのが、現時点での県の立場である。

いろいろな皆様から今日お集まりの皆様にもお問い合わせ等あるかもしれないが、常に不測の事態に備える心構えは持っておこうという対応で、当面の間はお願いしたい。

動きがあれば、出来るだけ早く県民のみなさまにお伝えさせていただきたい。

今日の議題と少し離れることを申し上げたが、ご理解を賜ればと思う。

本日の協議会総会では、平成24年度の事業計画・収支予算等について、ご審議いただく予定としている。

本日の議論及び講演会が、地域社会に貢献する協議会として、役割をさらに十分に果たしていくことが出来る、本日の議論が実のあるものになることを、皆様をお願い申し上げ、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

2 諸報告

(1) 新規会員及び退会会員について

【事務局説明】

新規会員について総会資料3ページ「諸報告(1)」に基づき説明。

兵庫県電気工事工業組合様、一団体の加入で、当協議会は115団体で構成。

(2) 支援金の受納について

【事務局説明】

当協議会に対する支援金について総会資料5ページ「諸報告(2)」に基づき説明。

(兵庫県遊技業協同組合 専務理事 堀尾壽典様に、副知事から、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会 会長 兵庫県知事 井戸敏三名の感謝状を贈呈)

3 議事

(1) 役員の選任について

【事務局説明】

役員の選任について総会資料7ページ「第1号議案」に基づき説明。
副会長にご就任いただいていた3名の方に異動があった関係で、新たに

兵庫県警察本部長	倉田 潤 様
兵庫県町村会会長	戸田 善規 様
兵庫県市長会会長	矢田 立郎 様

の3名の方々に、副会長にご就任いただくとするものである。

任期は会則によって、前任者の残任期間である平成26年6月19日までとなっている。

【議長】(金澤副知事)

原案のとおりとしてよろしいか。

～ 拍手 ～

【議長】(金澤副知事)

それでは、原案のとおりとさせていただきます。

(出席された役員を以下のとおり紹介)

・ 副会長

兵庫県警察本部	倉田 潤 本部長
兵庫県町村会会長	戸田 善規 会長
公益社団法人兵庫県防犯協会連合会	
竹田佑一会長代理	三浦 敏行 専務理事

・ 監事

兵庫県青少年団体連絡協議会	速水 順一郎 会長
---------------	-----------

【議長】(金澤副知事)

選任された役員の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(2) 会則の改定について

【事務局説明】

会則の改定について総会資料9ページ「第2号議案」に基づき説明。

本年4月、県の組織改正に伴い事務局長の充て職名に変更があり、これに伴い、会則第21条第3項中の職名を記載のとおり、「兵庫県政策監」から「兵庫県政策部長」に名称を変更しようとするものである。

また、附則で会則の改定は、平成24年4月1日から適用し、6月4日から施行しようとするものである。

【議長】(金澤副知事)

原案のとおり、改定させていただきますよろしいか。

～ 拍手 ～

【議長】(金澤副知事)

それでは、そのように、会則を改定させていただく。

(3) 平成23年度事業報告及び収支決算について

【事務局説明】

平成23年度事業報告及び収支決算について総会資料11～14ページ「第3号議案」に基づき説明。

【議長】(金澤副知事)

事務局が決算概要について説明したが、この決算については、速水監事に監査をいただいているので、速水監事に監査報告をお願いする。

【監査報告】

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会の監査の報告をさせてもらう。

去る本年4月12日に私の事務所のところへ関係書類全てを持って来ていただき、平成23年度ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事業及び会計について厳正な監査を行った。その結果、事業は、事務局報告のとおり、適切に行われており、会計についても、出来るだけ費用を圧縮して効果を下げずに実施するという努力をしていた。いずれも適正に処理されていたことを報告する。

(総会資料15ページ参照)

【議長】(金澤副知事)

平成23年度の事業報告と収支決算であるが、ご質問なりご意見がございましたらお願いする。

【質疑応答】

(なし)

【議長】(金澤副知事)

原案のとおり承認することよろしいか。

～ 拍手 ～

【議長】(金澤副知事)

それでは、原案のとおり承認させていただく。

(4) 平成24年度事業計画及び収支予算について

【事務局説明】

平成24年度事業計画及び収支予算について総会資料17～19ページ「第4号議案」に基づき説明。

- ・ 平成24年度事業計画案の基本方針については、23年度と同様であるが、特に今年度は、二重下線のところ、まちづくり防犯グループ等へのアンケート結果から明らか

になった、活動のマンネリ化や参加者の高齢化等の課題に対応するため、会員団体をはじめとする地域まちづくり防犯グループ等の皆様が一堂に会して、魅力のある活動や人材確保等について話し合う地域の交流・連携の促進に取り組むこととしたいと考えている旨を説明。

- ・ (イ) 地域安全まちづくりグループ間の交流・連携の促進については、基本方針でもご説明しましたように、防犯グループ等が連携活動事例の紹介や意見交換を行っていただくなかで、自らのグループでの活動を見直す機会としていただき、新たな活動方法や参加者拡大のノウハウなどを共有しマンネリ化を防ぐとともに、グループ同士の連携を深め、活動のさらなる活性化を図ってもらおうとするものである。全県的には、本協議会の本日の総会後に開催する講演会やセミナーの中で事業を実施するとともに、各県民局地域毎では、現在、県民局が主催する研修会及び交流会を順次開催しておりますので、開催へのご理解やご参加をお願いする旨を説明。
- ・ 予備費については、幹事会でのご意見を踏まえ、年度途中における新たな普及啓発事業の充実にも対応できるよう、昨年は2万円であった予備費を20万円に増額して計上させていただいた。次年度繰越金527千円、合計2,369千円を計上している旨を説明。
- ・ 本日の資料のうち、A3横の資料「地域安全まちづくり活動の主な取組状況等について」は、協議会会員115団体の皆様に照会させていただき、主な取り組みをとりまとめたものである。年度替わりの大変お忙しい時期にご協力いただきお礼申し上げる。これを活用いただき、協議会会員相互の取り組みの情報を共有し、本年度力を入れて取り組もうとしている、団体やグループ間の交流と連携の促進に少しでも役立ていただければと考えている旨を説明。

【議長】(金澤副知事)

平成24年度の事業計画と収支予算であるが、ささやかながら、若干の新しい取組もあり、予備費も少し多めに組んでいる。

そうしたことについての提案等、ご質問などご意見がありましたらお願いします。

～ 異議なし ～

【質疑応答】

(なし)

【議長】(金澤副知事)

それでは、平成24年度の事業計画と収支予算について、ご承認をいただいたということによろしいか。

～ 拍手 ～

【議長】(金澤副知事)

それでは平成24年度事業計画に基づき、事業を実施させていただき、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上で、本日予定しておりました議事は終了となるが、せっかくの機会なので、何

かご意見、ご質疑はないか。

【質疑応答】

(なし)

【議長】(金澤副知事)

今後の活動については、それぞれの立場でご協力いただけたらと思う。

以上で議事を終了する。

～ 拍手 ～

5 閉会あいさつ(事務局長 山内康弘兵庫県政策部長)

本日はお忙しい中、ご出席を賜り、ありがとうございます。

先ほどの総会については、平成24年度事業計画を始め、全ての議案について、ご既決をいただき、感謝を申し上げます。

本日ご審議いただいた内容をもとに、今後、当協議会では、今後、皆様方と主に、県民ぐるみの活動の推進母体として、安全で安心な兵庫の努めていきたいと考えている。

会員の皆さんにおかれても、引き続き、当協議会活動へ積極的にご参画と力添えをいただきますようお願いする。

最後に、会員の皆様の益々のご活躍を祈念し、総会の閉会に当たってのご挨拶とさせていただきます。